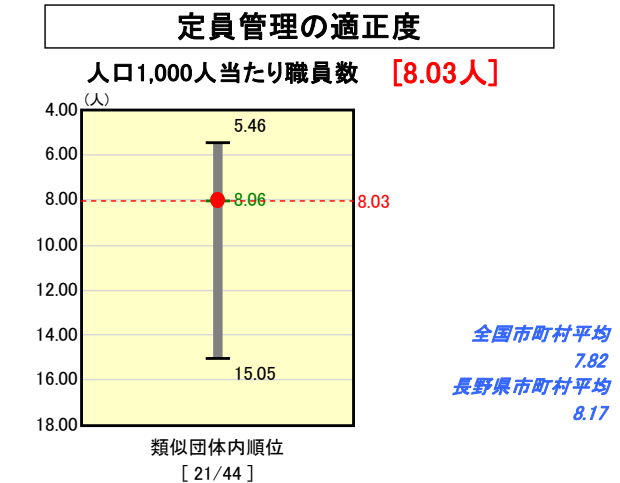
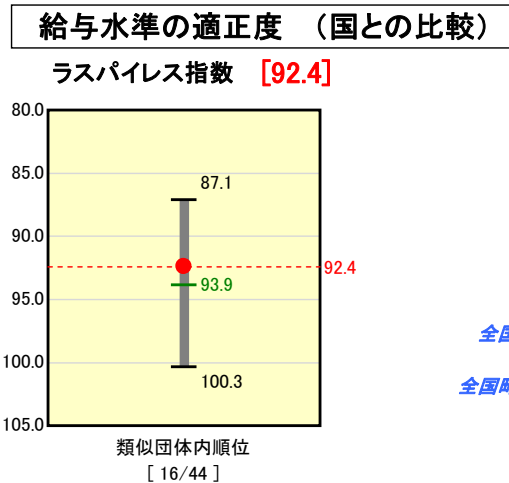
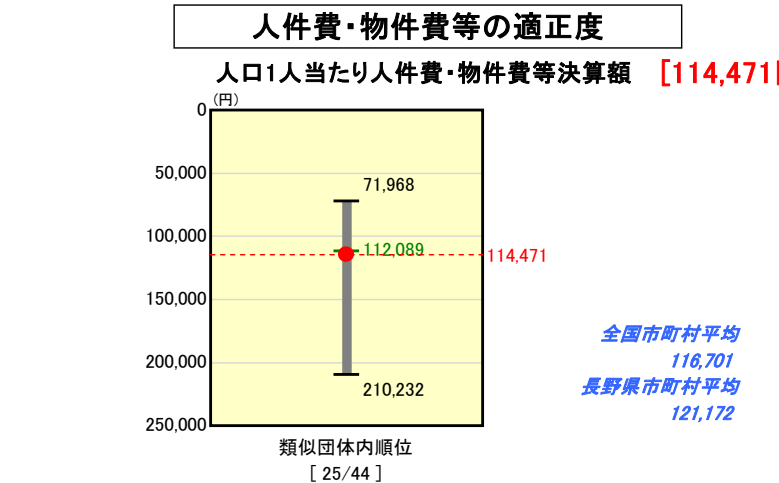
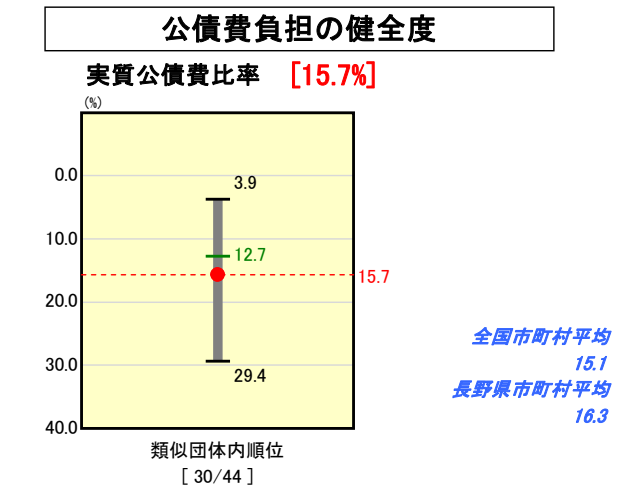
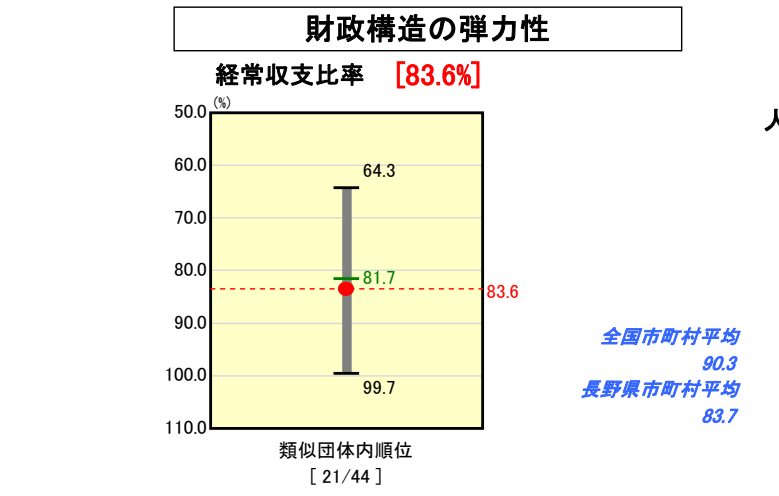
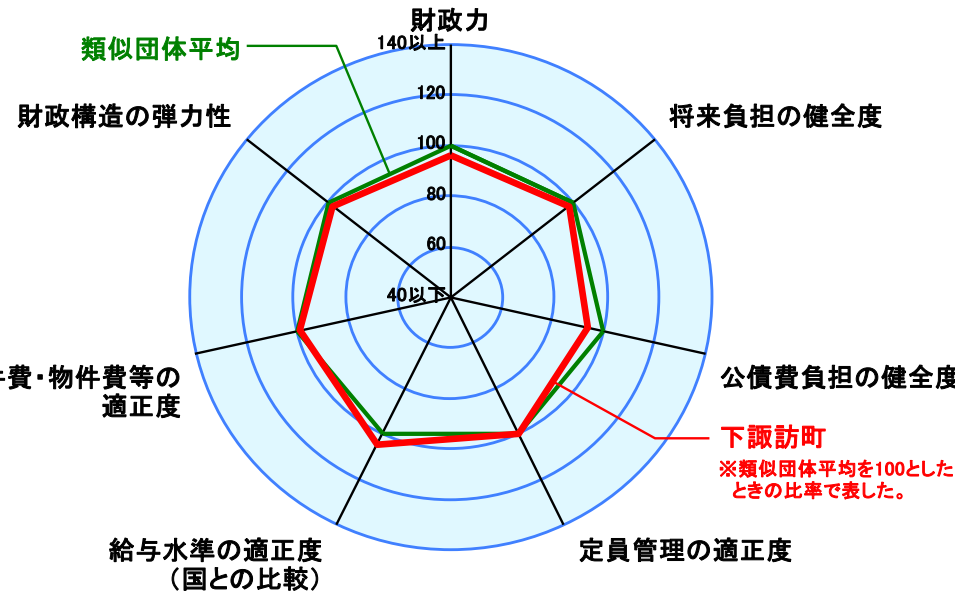
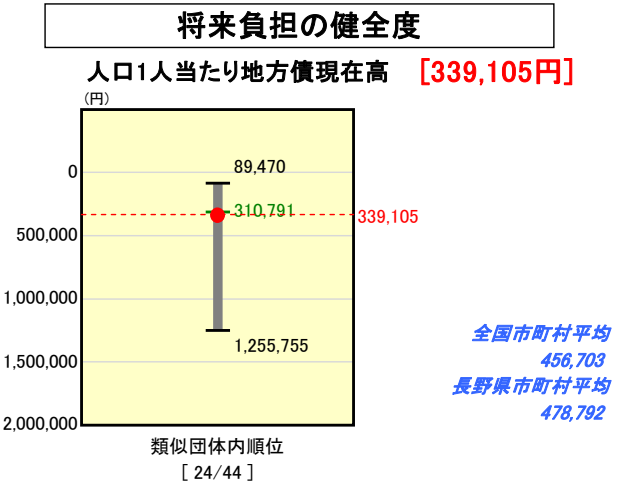
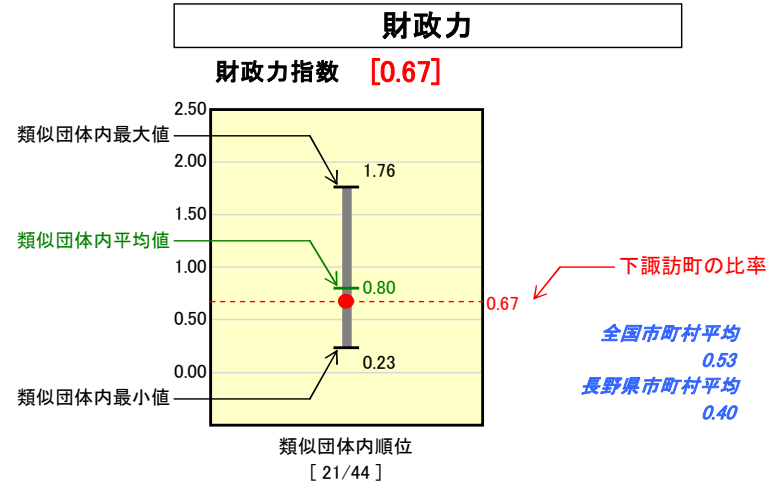


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 下諏訪町

人口	22,407人	(H19.3.31現在)
面積	66.90	km ²
歳入総額	6,928,141	千円
歳出総額	6,634,710	千円
実質収支	292,997	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 平成10年度(0.61)から連続して上昇しており、0.67となっている。しかしながら、類似団体の平均値より下回っているため、引き続き歳出削減等に努め、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】 公債費はここ3年間で減少しているものの、扶助費が年々増加してきていることなどから、比率が上昇傾向にあり、類似団体の平均値を上回っている。今後、事務事業の見直しを更に進めるとともに、行財政改革への取り組みを通じて経常経費の削減を図る。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 類似団体の平均値をわずかに上回っているが、平成23年度に予定されている保育園の統廃合や人件費の削減等により、経費縮減が見込まれる。

【ラスパイレス指数】 類似団体及び全国の平均値よりも低水準にある。今後もより一層の給与の適正化等により、引き続き縮減に努め、適正な水準を維持する。

【人口1人当たり地方債現在高】 類似団体の平均値より上回ってはいるが、全国及び県内市町村の平均値よりはかなり下回っている。平成18年度にスタートした『下諏訪町財政経営プラン』では、地方債現在高を平成17年度末の82億4千万円から平成27年度末には65億円にすることを目標値としており、今後、計画的な事業の実施と起債の償還を進めていく。

【実質公債費比率】 類似団体の平均値よりかなり高い水準となっている。ここ数年が公債費のピークであり、しばらくは高い水準が続くが、今後控えている大型建設事業も視野に入れながら、計画的な公債費管理に努め、財政運営を圧迫することがないように、適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】 定員適正化計画を基に、新規職員の採用は退職者の3分の2を目処とすることによって、着実に職員数が減少し、類似団体の平均値といえる。『下諏訪町財政経営プラン』では、平成22年度を目標に、職員数10%と人件費2億円程度の削減を目指しており、引き続き計画的な定員管理の適正化に努める。